



2013年7月31日発行

これから不妊治療を始めようという人、または結婚の予定があるが、自分に不妊症になる要因があるか否か心配な人に不妊治療豆知識を紹介しましょう。まず図に排卵から着床までの仕組みを示します。排卵、ピックアップ、受精、着床と妊娠するまでにはいくつかのハードルがありますが、なにげに進んでいくように思われる現象でも、各段階のハードルは以外に高いのです。不妊治療の中でも体外受精はブラックボックスにある原因不明の不妊因子を明らかにできる方法といえます。一般的にはまず、検査をします。標準検査ではわからないことが多々ありますが、原因がわかればその治療を、しかし大部分は原因不明が多いのでタイミング→人工授精→体外受精と半年から1年程度のスパンですすんでいきます。中でも抗ミュラー管ホルモンで「卵巢年齢」が高い人には早めのステップアップをすすめています。不妊治療の種類を表に示します。「卵子の老化」を考えると35歳前の出産が理想です。少子高齢化社会の労働力として女性の立場はますます重要です。女性の管理職を増やそうとの「アベノミクス」成長戦略も本格始動しています。子供を生むのなら「今でしょう」。キャリアは、産休中でも育休中でも仕事や勉強の手を休ませることをしなければ、追いつくはずです。自分の能力を発揮できる期間は長いけれど、妊娠・出産できる期間は限られていることを認識すべきでしょう。

《不妊治療の種類》

分類	手段	内容	妊娠率	1回当たりの費用
一般 不妊治療	タイミング指導	基礎体温、ホルモン検査、超音波検査による卵胞測定等から排卵日を予測し、医師が性交のタイミングを指導	2~5% 程度	1万~2万円 程度
	人工授精(AIH)	タイミング指導同様に排卵日を予測し、活性の高い精子を選別し、注射器のような器具を用いて精子を子宮内に注入する	5~10% 程度	1万~4万円 程度
生殖補助 医療 (ART)	体外受精(IVF)	多くは排卵誘発を行って、卵巢から直接卵子を取り、培養液の中で精子と受精させ(ふりかけ)、受精卵を子宮に移植する。	新鮮胚 IVF: 23.7% (10.4%)	20~ 60万円 程度
	顕微授精(ICSI)	ピペットで1個の精子を卵子に注入。他はIVFと同様。IVF,ICSIともに受精卵を一旦凍結し別の周期に子宮に戻す手法が増加	新鮮胚 ICSI: 20.1% (8.1%) 凍結胚: 33.7%	

